

本市の環境の現状や計画の進捗状況等を踏まえ、緊急性・重要性が高く特段の取組が必要な分野を「重点分野」として位置付けています。環境要素に係る重点分野として、「大気汚染の低減」「化学物質の環境リスクの低減」「緑の保全・回復」「地球温暖化防止対策の推進」「資源の有効活用による循環型社会の形成」を掲げています。また、政策手段に係る重点分野として、「環境教育・環境学習の推進」「市民、事業者、市のパートナーシップの構築」を掲げています。

重点分野

1

大気汚染の低減

～ディーゼル車を中心とした自動車排出ガスによる大気汚染の低減～

◆◆◆◆◆ 大気汚染の状況 ◆◆◆◆◆

【主な重点目標の達成状況】

- 自動車の窒素酸化物排出総量【対策目標量：1,010トン】
2005年度の推計量は、2,200トンで2000年度比35%減
- 自動車の粒子状物質（一次粒子分）排出総量【対策目標量：172トン】
2005年度の推計量は、270トンで2000年度比56%減

大気汚染の状況は、環境基準が定められている大気汚染物質について住宅地域等に設置している一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)9局と、道路沿道に設置している自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)9局で測定を実施しました。

・二酸化窒素 (NO₂) 【目標：達成率100%】

一般局全局で環境基準を達成し、自排局でも9局中6局で達成し、過去最高の達成率83%になりました。

・浮遊粒子状物質 (SPM) 【目標：達成率100%】

長期的評価では、一般局・自排局ともに全局で対策目標値を達成しました。(達成率100%)

また短期的評価は、一般局で9局中6局、自排局では9局中1局で達成しました。(達成率39%)

